



コロナ禍の今こそ「がん検診」 10月15日～21日は「がんと向き合う週間」です

10月15日(金)～10月21日(木)の一週間は、長野県がん対策推進条例に定める「がんと向き合う週間」です。改めてがんと向き合う契機と捉え、ご自身をはじめ、大切なご家族、ご友人にも「がん検診」の受診をお勧めください。

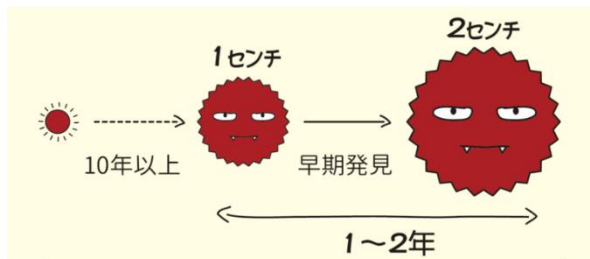
1 令和3年度テーマ

「コロナ禍の今こそ「がん検診」～初めて受診、久しぶり受診、今年も受診～」

がんの早期発見、早期治療には、がん検診が欠かせません。コロナ禍であっても、「適切な時期の適切ながん検診」を受診しましょう。

《参考資料》

がんを早期に発見できる期間は1～2年です



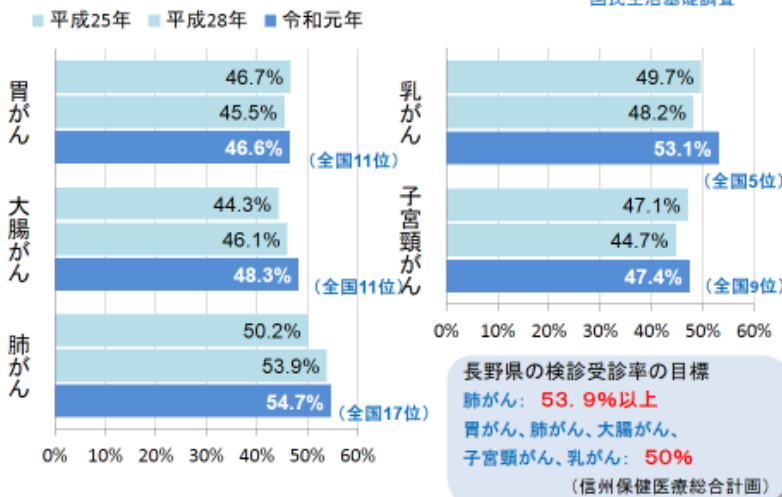
検診を1～2年ごとに受けないと、がんを早期に発見することが難しくなってしまいます。

国が定めるがん検診

項目	内容	対象年齢	間隔
胃がん	問診 胃部X線検査	50歳以上 (40歳以上も可)	2年に1回 (年1回も可)
	問診 胃内視鏡検査	50歳以上	2年に1回
大腸がん	問診 便潜血検査	40歳以上	年1回
	問診 胸部X線検査 (喀痰細胞診)	40歳以上	年1回
乳がん	問診 マンモグラフィ	40歳以上	2年に1回
子宮頸がん	問診 細胞診	20歳以上	2年に1回

長野県におけるがん検診受診率

国民生活基礎調査



※1～2年の間隔でがん検診を

※長野県の検診受診率は全国平均より高い

2 県の取組

(1) ポスターによる啓発

地域包括医療協議会と協働し、「がん検診受診啓発ポスター」を作製し、コロナ禍における「がん検診」の重要性を呼びかけます。



(2) 「がん対策推進県民講座」の開講

コロナ禍におけるがん予防とがん検診をテーマに約1時間でわかりやすく学べる内容です。パソコン、スマートフォンを使用してお聴きください。

○YouTube 動画配信 10月15日(金) 配信開始

○講座内容

講演1 「長野県のがん対策について」(約20分)

信州大学医学部教授 同 附属病院信州がんセンター長
小泉 知展 氏

講演2 「がん予防とがん検診について」(約40分)

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所理事
兼 国立健康・栄養研究所長
津金 昌一郎 氏



ご視聴はこちらから

<https://youtu.be/j6W5g5weOam>



(3) 77市町村及び企業との協働

「がんと向き合う週間」に合わせ、改めてがん検診の重要性を県民の皆様へ伝える契機とすべく、77市町村と協定を締結しました。

「長野県がん対策推進企業等連携協定」を締結していただける企業様を募集しています。

お申し込み方法は、チラシをご覧ください。



信州版「新たな日常のすゝめ」



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

健康福祉部保健・疾病対策課がん・疾病対策係

(課長) 西垣 明子 (担当) 樋口 てるみ

電話 026-235-7150 (直通)

026-232-0111 (代表) 内線 2637

F A X 026-235-7170

E-mail gan-shippei@pref.nagano.lg.jp